

2017年度 フローラン・エオー客員教授 クラリネット 特別講義

1. 日 時 : 2017年11月11日(土)13時30分～17時00分
2. 場 所 : O号館 202教室
3. 対 象 学 生 : クラリネット専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : フローラン・エオー客員教授 (Florent HEAU)

フランス国立リュエイユ＝マルメゾン市地方音楽院教授。

フランスの伝統的なクラリネット教育<エコール・フランセーズ>を世界中に伝えるべく、教育活動と演奏活動を熱心に行う、優れたフランス流派クラリネット奏者の1人。クラリネットを幼少期よりミッシェル・アリニョン氏のもとで学び、1991年、フランス国立パリ高等音楽院を1等賞で卒業。同年、トゥーロン国際クラリネットコンクールでも見事1位を獲得した。

ミッシェル・アリニョン氏のアシスタント教授として、パリ国立高等音楽院で5年間教鞭を執り、その指導力が評価されヨーロッパ各国やラテンアメリカ、アジアのマスタークラスに定期的に招聘されている。

室内楽の演奏活動には精力的に取り組み、R.カピュソン、G.コセ、H.ドゥマルケット、A.ガステイネル、M.ベロフラと共演するほか、ソリストとしては、ヨーロッパ・カメラータ、パリ室内管弦楽団、ブルターニュ管弦楽団、ポーランド放送室内合奏団、プラハ室内管弦楽団等と共演。また、T.エスケシュやF.エルサンの現代音楽の作品も初演している。また独自の活動としては、クラリネットアンサンブルの音楽劇団<Les Bons Becs レ・ボン・ベック>を1996年に設立し、クラリネットの可能性に激動を与えた。クラリネット四重奏にパーカッションを加え、舞台ではタップダンスや踊りをしながら演奏が披露され、その評価は高く、現在2作目の公演が世界中で行われている。

5. 講 義 概 要 :

別府 みつき(大3)	ウェーバー	グランド・デュオ・コンセルタント
中村 芽育(大3)	ブラームス	ソナタ第1番 第1楽章
小林 大真(大4)	マルティヌー	ソナチネ
大畑 卓也(大4)	ウェーバー	協奏曲第2番 第1楽章